

「誰でもが  
よい寫眞を  
容易く、而  
も失敗なし  
に撮す」



さいふ理想はオート・フォーカス・ミノルタによつて完全に實現されました。

寫眞術で一番厄介な距離目測の困難は除去され、今一つ判明距離を、一律に刻印されたカメラの距離スケール盤に合はす不安が同時に解消されました。

聯動式—自動焦點式距離計附カメラ—これが最もアツプツデーであり、また明日のカメラ型式でもあるのです。

純日本製オート・フォーカス・ミノルタは見事近代カメラ工作の最高峰を一番乘りに征服致しました。



オート・フォーカス  
ミノルタ・カメラ・大名刺判 (6.5×5cm)  
アケチプラン・アナフチグマト 1.4.5 105%  
クラウンシヤター 取替六個バツク枠  
レンズキヤツプ レリーズ付

¥13500

浅 沼 商 會 發 賣



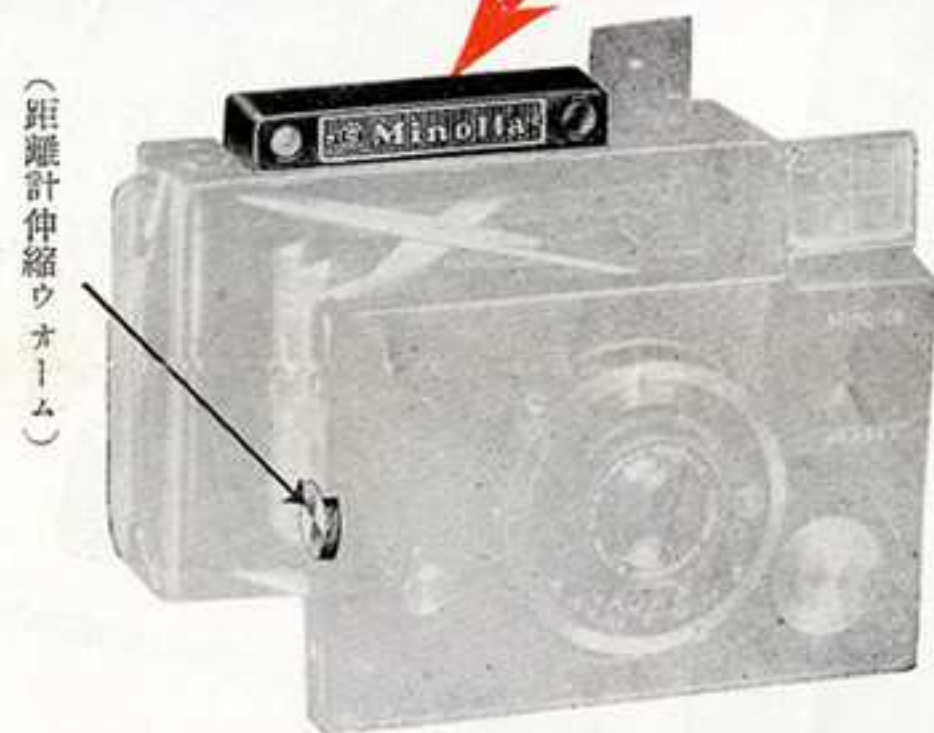
オートフォーカス

ミノルタカメラ

▼ 自動焦點式距離計付 ▲

6.5 X 9 CM

特許  
オート・フォーカス  
ミノルタ



(距離計伸縮ウォーム)

純日本製「自働焦点式距離計」の完成

簡単・精確な距離測定

距離計を覗き乍ら被写体の像を一致せしめるだけで、狙ってマチリミシャターを切れば、それで100%の成功率が保証されるのです。距離計の光学プリズムミレンズ部が精密に而も自動的に連絡動作する機構だからであります。距離計はレンズの深度に合わせて、長基線(Basis)七種となり、三角法に基いた正像合致式(Koinzidenzprinzip)によるものであります。

使用法

前板正面の距離目盛盤が最近距離を指して居る場合、距離計の覗窓を覗くと黄色い視野の中に被写体の二重像が白い圓の中に現れて居ります(左図上)、その時距離計伸縮ウォームを徐々に内側へ廻はして、二重像を完全に一致させば、その一致した點にピントが合つて居るのです(左図下)、そこでファインダーで狙ってシャターを切れば目的物に對しレンズの鮮鏡度をハッキリ發揮させた印畫が得られるのです。



ピントの合つて居ない場合



ピントの合つて居る場合

特許「クラウン」シャター

露出の正確  
機構の精緻  
機能の圓滑  
安全装置付



國産鏡玉の第一品

アクチプラン  
アナスチグマト

1:4.5

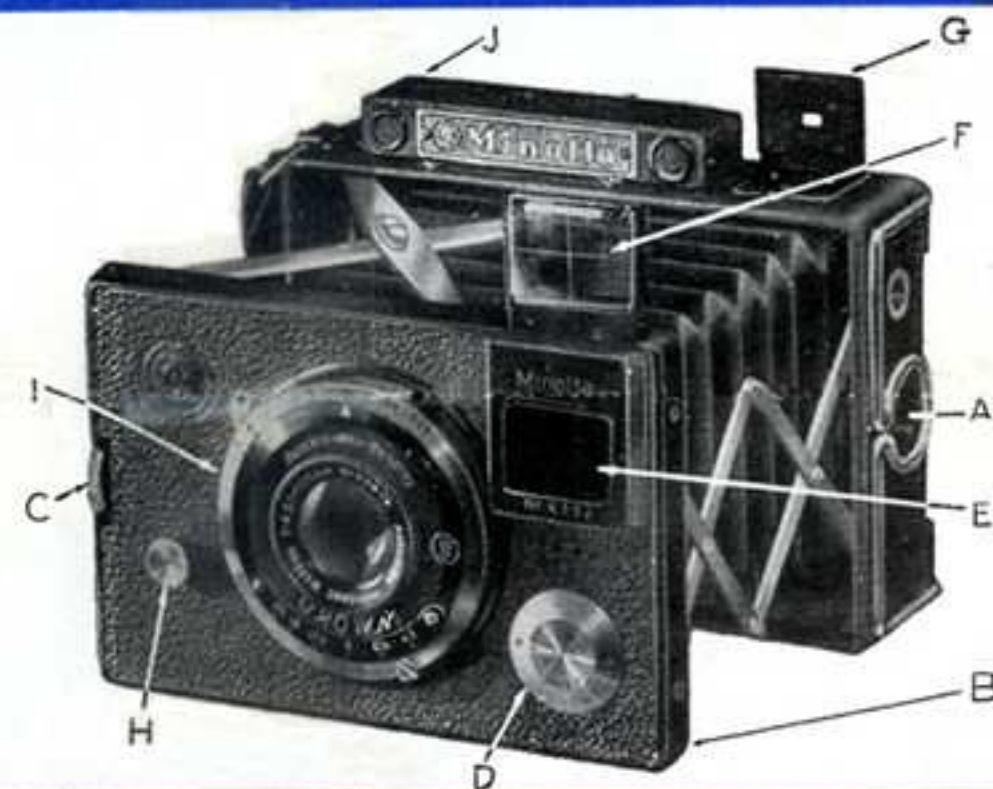
105mm

カメラ界に断然頭角を顯はせる

オート・フォーカス・ミノルタ・カメラの特徴

- ① スプリング式ですから、迅速なる撮影に適することは申すまでもありません。而もレンズと距離計とが聯動式でありますから、瞬間撮影でも思ふみの寫眞が撮れます。
- ② 一切の巧妙なる機構は前板筐内に装置されて居りますから
  - a 開閉の機構は心憎きまで圓滑であります。
  - b 構造堅牢となり又外部より損傷の憂へがありません。
  - c 繰出しウォームが母体ではなく前板に装着せる爲め繰出機構は極めて自然であり圓滑であります。
- ③ 前板正面に裝備せる距離スケール盤は距離伸縮に従ひプリズムの運動に更に聯動して自動的に而も正確に蓋當距離を示す装置となつて居ります。
- ④ スプリングカメラ従來の不可避的缺點たりし前板の横振れはミノルタ・カメラ獨特の創案により完全に防止されて居ります。
- ⑤ 外觀の美、型態の瀟洒は實物御一覽賜はれば御得心戴けるものと存じます。
- ⑥ シャターは1秒、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ 、 $\frac{1}{16}$ 、 $\frac{1}{32}$ 、 $\frac{1}{64}$ 、 $\frac{1}{128}$ 、 $\frac{1}{256}$ 、各秒 B. T.となり安全装置附であります。同装置のあるシャターは舶來國産を問はずこのクラウンシャター以外他に求め得られません。
- ⑦ レンズは嚴密なる光学検査を経たる明鏡アクチプラン 1:4.5 F 105mmを裝備致して居ります。

特許  
オート・フォーカス  
ミノルタ



使用法概略

オート・フォーカス・ミノルタ・カメラの特殊の使用法だけを略記致します。

**カメラの開け方** カメラを稍下方に向け、向つて右側面のボタン(A)(皮にて蓋はる)を押せば前板(B)は自然に靜かに前方へ出て固定致します。

**焦点の合せ方** ウォーム(C)を前方へ廻せば前板は前進致します。同時に正面スケール盤(D)の矢印も廻轉して、それぞれの距離を示指すると同時に距離計の中のプリズムに精密に連絡動作して覗窓(J)より覗く時はさきに説明申上げた様な現像をなし、ピントガラスに頼らずして迅速に焦點鮮銳の寫眞が撮れます。集合撮影など其他特殊の場合だけのみピント棒が必要であります。ピント棒は小ボタンを上方へ押せば扉はバネで開きます。

**透視ファインダーの使い方** ファインダーケース(E)を上を持ち上げればファインダーレンズ(F)がバネ仕掛けで直立します。後方の小孔板(G)を直立せしめ小孔より前方ファインダーレンズ十字中心を見透し位置を定めます。

**カメラの開め方** 閉鎖ボタン(H)を靜かに押せば内部の特殊装置に依り固定部が自然に外れカメラは閉ります。

**シャターの安全装置** シャターの向つて左下の赤いボタン(I)が同装置ボタンですから手前に軽く引出せば安全装置がかゝり、押せば安全装置が外れます。總て機構は自然に靜かに作用する様になつて居ります。無理があれば使用法が間違つてゐるのでありますから御注意願ひます。